

資料 3-4

小山教授 資料

第3回 看護の質の向上と確保に関する検討会
平成20年12月25日（木）

看護の質の向上と確保に関する検討会

大学における看護学教育

平成20年12月25日

神奈川県立保健福祉大学

小山 真理子

1

大学における看護学教育がめざすこと

- ・ 保健・医療・福祉のどの場においても、看護職として社会に貢献できる人材としての基本的能力の育成
- ・ (大学卒)社会人としての教育と職業人としての教育
→大学設置基準と保健師助産師看護師学校養成所指定規則の両方の法的要件を満たす必要性
- ・ 卒業後定年まで働き続けるための基本的能力の育成
社会の変化、保健医療の変化に対応していける能力
看護実践能力、他
- ・ 他

2

神奈川県立保健福祉大学の例

・平成15年4月設立 *平成21年4月からカリキュラム改正予定

・保健福祉学部（1学年220名＋編入生22名）計242名定員

看護学科 80名＋編入生 8名

社会福祉学科 60名＋編入生 6名

栄養学科 40名＋編入生 4名

リハビリテーション学科 40名＋編入生 4名

内訳：理学療法専攻（20名） 作業療法専攻（20名）

・入学試験：看護学科88名のうち

一般選抜 40名 推薦入学 32名 社会人 8名

編入学 8名 帰国生徒 私費外国人留学生 若干名

3

神奈川県立保健福祉大学の基本理念:

- 1.保健医療福祉の連携と総合化
- 2.生涯にわたる継続教育の重視
- 3.地域社会への貢献

保健福祉学部の教育理念（省略→大学ホームページ参照）

看護学科の教育理念（省略→大学ホームページ参照）

4

保健福祉学部の教育目標

1. かけがえのない存在である「ひと」を深く理解するとともに、豊かな人間関係を築く力を培う。
2. 人々のニーズやコミュニティが抱える様々な課題を広い視野で考察、分析し、市民との協働により解決する力を培う。
3. 人々にとって最適な保健医療福祉サービスを提供するため、常に科学的根拠に基づく判断力をもち、高い倫理観や人権意識を基盤とした実践力を培う。
4. 保健・医療・福祉に関する幅広い知識や技術を理解するとともに、連携して協働できる力を培う。
5. 専門領域における基礎的知識や技術を十分理解するとともに、主体的に学問を探究し、真理を追究する姿勢を培う。
6. 国際的な視野に立ち、コミュニティを基盤として広く世界に貢献する力を培う。

5

＜大学、学部の教育理念、教育目標をふまえ＞ 看護学生が卒業時に習得していることを期待する能力

1. ヒューマンケアリングに基づいた人間関係を築くためのコミュニケーション能力がある。
2. 批判的に思考する姿勢をもち、物事の本質を探究する態度がある。
3. 科学的根拠に基づいた看護実践、系統的に情報収集し有用な情報を選択できる。
4. 対象の健康に焦点をあて、ニーズや課題を的確に把握し、必要な援助の計画を立て、実施、評価できる。
5. 保健医療福祉の分野で看護の専門性と役割を幅広く捉えることができる。
6. 看護学の発展に寄与しようとする意欲がある。

6

＜カリキュラム＞（別紙資料参照）

- ・象徴科目（大学の理念を全学科の学生に）
- ・連携実践教育科目
- ・専門創造教育科目
- ・卒業研究

卒業単位：129単位

履修終了者：看護師、保健師の国家試験受験資格

7

・他職種と連携していく能力育成にむけての工夫

・他学科との共通履修科目設定

例)健康論

（人間総合教育科目）:

人間関係とコミュニケーション I

人権・ジェンダー 他

・連携科目設定

例)ヒューマンサービス論 I（1年次）

保健医療福祉論

地域保健医療福祉連携論 他

ヒューマンサービス論 II（4年次、全学科の学生で

事例検討する小グループ学習）

8

・看護実践の基礎となる知識の充実と内容の工夫

- ・解剖学と生理学ではなく「体のしくみ」として
- ・薬理学は2科目必修「薬の基礎科学」「臨床薬理」
- ・アセスメント能力の育成「ヘルスアセスメント」
- ・基礎科目と看護の科目の連動
(例、病態治療論Ⅰ 急性期看護論)
- ・その他

9

・知識が「のこる」あるいは少しでも「わかる」ために

- ・理論と実践をできるだけ関連づける
 - 1) 早期に実習にでる
 - 2) 授業と実習を同時進行で (H21より変更予定)
- ・学び方を学ぶ (自己学習能力の育成)
 - ・1年次(文献の探し方と批判的読み方)
(問題に基づく学習法 PBL)

10

・問題解決能力、判断力他の能力育成にむけて

・問題に基づく学習法 Problem Based Learning

臨床の状況設定場面から、学生が主体的に問題を発見し、解決するプロセスを少人数のグループ学習により学ぶ教授・学習方法。

1年次に30h → 2年次15h その後2,3年次で
リプロダクティブ・ヘルスケアⅡ. 急性期看護論Ⅱ
慢性期看護論Ⅱ.

11

・根拠に基づく看護実践への入門として

・エビデンスベーストナーシング EBN

- ・日々の看護実践の根拠は、を常に考える。
- ・臨床の疑問をどのように明確にしていくか(EBNのステップ)
- ・研究成果としてのエビデンスを探す・・・文献検索方法
- ・エビデンスとして使えるかを吟味する・・・文献の批判的読み方
- ・患者主体のEBNとは(エビデンスの適用)

2年次に30h → その後の実習に役だって欲しい

12

看護臨地実習

1年生：保育園、地域、老人保健施設、病院(6)

2年生：病院(8)、がんセンター、市役所、保健所、
小中学校、他

3年生：病院、精神医療センター、こども医療セン
ター、透析センター、助産所、訪問看護ステー
ション他

4年生：保健所、学生が希望する実習場で総合実習

13

実習(1年後期)

基礎看護実習A (1単位45時間)

- ・ コミュニケーション
- ・ 療養されている方々の気持ちを理解できるよう努力する。
- ・ 療養されている方々の環境を理解する。
- ・ 看護師の役割、他職種の役割を理解する。

14

実習(1年後期)

成長発達理解実習(1単位45時間)

- ・ ライフステージ各期にある人々を理解する
- ・ 小児、成人、老年期にある人々とのコミュニケーション
- ・ 日常生活における支援のあり方

保育園

健康増進センター

老人福祉センター

介護老人保健施設

15

実習(2年次)

- ・ 療養を受ける人の日常生活の援助
- ・ 診断や治療を受ける人の看護
- ・ 臨床の問題を解決するための看護
- ・ 手術室、集中治療室、救命救急室の見学実習
- ・ 地域で生活する人々の健康問題を整理・分析し、解決する方法を理解する。

16

実習(3年次)

- 妊娠・分娩・産褥期および新生児期の看護
- 急激に症状が変化する患者の看護(手術、他)
- 健康障害を持つ小児の看護
- 精神障害を持つ人の看護
- 慢性的な障害を持つ人の看護
- 在宅における看護

17

実習(4年次)

- 地域住民の健康を守るためのヘルスケア
- 保健所や市町村等行政機関での看護
- 学生が主体的に実習テーマに沿った実習を総合的に実施

18

・授業としての実習をどのようにしているか(例)

- ・実習目標を明確にし、実習受け入れ先、教員、指導者
学生が共有する。
- ・与えられる学習ではなく、学生が主体的に情報収集し、
アセスメントし、計画し、(指導のもとで)実施する。
- ・実習計画、目標の達成状況、生じた問題などについて
の振り返り、問題解決に向けて
(毎日のカンファレンス、実習記録)
- ・評価 (実習指導者、教員、学生を交えて)

<実習の場との連携>

- ・年1回の合同実習連絡会
- ・各実習ごとの事前、事後連絡会
- ・実習委員会(学内、看護学科)
- ・教員の臨床研修、ほか

19

指定規則にないが4年次に開講している看護専門科目

- ・ 終末期看護論(必修)
- ・ 看護研究法
- ・ 総合実習(必修)
- ・ 看護管理学(必修)
- ・ 看護教育学(必修)
- ・ 卒業研究(必修)
- ・ 看護政策論
- ・ 医療看護経済学
- ・ 国際看護論

大学における看護基礎教育の課題(例)

- ・必修科目が多い ⇔ 創造性、他の能力の育成
- ・教員の担当時間数の多さ:実習、講義、大学院兼任

別表1 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科カリキュラム

カリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次
象徴科目		ヒューマンサービス論Ⅰ			ヒューマンサービス論Ⅱ
人間総合教育科目		英語(英会話Ⅰ)、英語(講読)、英語(保健医療福祉のための英語Ⅰ)、英語(保健医療福祉のための英語Ⅱ)			
		人間関係とコミュニケーションⅠ 人権・ジェンダー 文献検索とクリティーク 統計学	英語(総合英語)、英語(英会話Ⅱ)		
		倫理と人間 宗教と人間 哲学 教育原論 ボランティア・市民活動論	心理学 人間関係とコミュニケーションⅡ 健康スポーツ バリアフリースポーツ 創作・造形活動 日本国憲法 社会学 現代社会と危機管理 多文化理解 国際社会と日本	歴史と人間 生活と経済 神奈川の生活と文化 科学と人間 環境学 物理学 化学A、化学B 生物A、生物B コリア語(基礎) コリア語(応用)	スペイン語(基礎) スペイン語(応用) 中国語(基礎) 中国語(応用) 情報の活用と倫理 情報処理学Ⅰ 情報処理学Ⅱ
連携実践教育科目		健康論 保健医療福祉論 公衆衛生学 薬の基礎科学 感染の予防と管理	子ども保健医療福祉論 高齢者保健医療福祉論 障害者保健医療福祉論 疫学・社会調査 救命・救急学概論	地域保健医療福祉連携論	保健医療福祉総合演習
			カウンセリング入門、医用機器概論、家族社会学		
			口腔健康論		
専門創造教育科目		体のしくみⅠ 体のしくみⅡ 心のしくみ 栄養学	臨床薬理学 病態生理学 病態治療論Ⅰ・Ⅱ 問題に基づく学習法(PBL)		
		ヘルスアセスメント 看護学概論 援助技術論Ⅰ 成長発達と健康 学校保健Ⅰ	援助技術論Ⅱ・Ⅲ エビデンスベーストナーシング(EBN) リプロダクティブ・ヘルスケアⅠ リプロダクティブ・ヘルスケアⅡ 急性期看護概論 急性期看護論Ⅰ(小児) 急性期看護論Ⅱ(成人・老年) 地域看護学概論 産業保健論 看護と関係法規	急性期看護論Ⅲ(精神) 慢性期看護概論 慢性期看護論Ⅰ(小児) 慢性期看護論Ⅱ(成人・老年) 慢性期看護論Ⅲ(精神) 地域看護論Ⅰ 看護倫理 リハビリテーション看護論	終末期看護論 地域看護論Ⅱ 看護教育学 看護管理学 看護政策論 医療看護経済学 国際看護論 看護研究法 保健福祉行政論
		基礎看護実習A 成長発達理解実習	基礎看護実習B 基礎看護実習C 急性期看護実習A(成人・老年)	リプロダクティブ・ヘルスケア実習 急性期看護実習B(成人・老年) 慢性期看護実習A(成人・老年) 慢性期看護実習B(成人・老年) 慢性期看護実習C(小児) 慢性期看護実習D(精神) 地域看護実習A	地域看護実習B 総合実習 地域アセスメント実習
卒業研究					卒業研究

看護学科を卒業するためには、129単位以上を修得する必要があります。また、看護学科では、選択により下欄の科目を履修することによって、助産師国家試験受験資格、養護教諭一種免許状、社会福祉士国家試験受験資格を取得できる課程(コース)を用意しており、いずれか1つを選択することもできます。

専門創造教育科目	助産学関連科目 17単位				助産学概論 性と生殖の生理と病態 助産診断・技術学Ⅰ 助産診断・技術学Ⅱ 助産診断・技術学Ⅲ 助産管理論 助産学実習
	教職関連科目 21単位	教育課程論 教育心理学	総合演習 教育方法論	養護概説 学校保健Ⅱ 教育相談論 現代教職論	生徒指導論 養護実習
	社会福祉学 関連科目 31単位	社会福祉概論 地域型社会福祉の理解	高齢者福祉論 児童福祉論 ソーシャルワーク各論Ⅰ(個人・集団) ソーシャルワーク各論Ⅱ(地域)	障害者福祉論 ソーシャルワーク各論Ⅲ(計画・運営) ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	ソーシャルワーク総論 ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習